

開催報告 子育て世帯で必要な防災とは

2026年9月8日(火)、東北大学災害科学国際研究所 助教の原裕太先生をお招きし、防災講座を開催しました。今回は「ハザードマップを見てみよう」をテーマに、災害研究の先生から災害リスクや避難のポイントなどを丁寧に教えていただきました。当日は7組の親子が参加され「新しい発見があり参加してよかった」との声も。MaRU設立のきっかけとなったのは、代表の大橋が母子避難を余儀なくされた東日本大震災です。MaRUでは9月と3月の年2回防災講座を行い、保護者の皆さんに向けて減災防災の知識を深める活動を推進しています。



【臨時休館9/7】ぽぽらすの緊急災害対策

9月、線状降水帯の発生により日本各地で大雨による甚大な被害を受けました。仙台市でも7日は線状降水帯の発生予報により大雨警報が出されたため、ぽぽらすは前日に臨時休館とすることを決定し、前日夕方には翌日の休館とイベント中止のご案内を各所にご連絡いたしました。気象庁による防災気象情報の警戒レベル体系は変更されてまもなく、判断に迷うこともありますが、乳幼児期の親子の安全を最優先に対策を講じられるよう、月1回避難訓練で意識を高めています。やむなく休館やイベント中止を決定した際には電話連絡やSNSにて迅速に発信いたします。



開催報告 思い出の品を必要な方へ届けたい

8月29日(土)、ぽぽらすにて『おさがりマーケット』を開催。出店者は先輩パパママの皆さんです。子どもの成長に合わせて買い替えが多い乳幼児期。家族にとって思い出深いけれど不要となった品々が、誰かの新しい思い出となる。「使ってくれてありがとう」「譲ってくれてありがとう」という感謝を交わし、温かなつながりが生まれる場となりました。あいにくの雨にもかかわらず、たくさんの方にお越しいただき、求められているイベントだと実感しております。



企業連携 ぽぽらす×藤崎 共育イベント

9月よりぽぽらすでは、株式会社藤崎様との共育企画をスタート。これから毎月1回、藤崎様にて子育て世帯向けの取り組みを開催する予定です。第1回目は9月30日(水)『赤ちゃんとの絆を深めるベビーマッサージ体験会』を開催。マッサージの後は、藤崎本館3階『ケヤキカフェ』でのランチ・カフェ交流会を行い、0歳児の親子さんが集うリフレッシュの時間となるように、精一杯努めさせていただきました。今後も毎月藤崎様と共に、子育て中の親子さんが楽しめるイベントを開催していきます。



募集 ぽぼらすの一部をレンタルできます

MaRUが運営する『ぽぼらす』では、子育てを応援する企業や団体に施設の一部貸し出しを行っています。地域の子育て支援団体をはじめ、多様な背景や支援ニーズを持つ親子・家族を支えるコミュニティにも活用されており、安心して集い、つながる場として地域に根付き始めています。また榴ヶ岡駅から徒歩1分の好立地とあって最近、全国の団体や企業様の東北での集まりの拠点にご利用いただくことも増えています。平日は2時間3,500円から利用可能です。



『Pocci!』を通じたご支援、いつもありがとうございます

『ぽぼらす』では、古紙やダンボールのリサイクルを通じて地域の子どもたちや活動団体を支援するプラットフォーム『Pocci!』（運営団体：株式会社SKトレーディング様）に登録し、地元・宮城県の協力企業様より度々温かいご支援をいただいております。ぽぼらすでの制作費や材料費など、子どもたちの手で触れる物の費用に充てさせていただけること大変感謝しております。地域の皆さまからいただいた想いを、ぽぼらすの活動に役立てて参ります。



開催報告 MaRU認定講師・実技確認会

9月6日(日)、MaRU認定ベビーケア・チャイルドヨガインストラクターのためのフォローアップ研修として、実技の確認会を開催。参加者は41名（オンライン15名）で保育士、保健師、ベビーマッサージ教室の運営など職業はさまざまですが、行政や保育業界からMaRU認定講師には講座を安心して任せられるとお声をいただきます。今回も成長を意識できる、良い学び直しの機会となりました。今後ともMaRUでは次世代の子育て支援者の育成に尽力して参ります。



MaRU講師による出張講座、承ります。

MaRUでは、「ふれあいをすべての親子に」という理念のもと、「ふれあい遊び・赤ちゃんヨガ・ベビーマッサージ」を乳幼児期の親子に伝える活動を行っています。これまで主に保育園や幼稚園、地域の子育て支援センター、仙台市の乳幼児期の親子向けのプログラムを担当する施設などからご依頼いただいています。MaRUの活動により孤独な子育てが軽減され、子育て世代のコミュニティづくりの一助となれましたらうれしい限りです。子育て世代向けのお取組みを検討されている方、ぜひお気軽にご相談ください。



子育て世帯が地域を支え、地域の可能性を広げる存在となることを目指して 代表理事 大橋 香朱美

2026年9月で4期目が終了し、10月より5期目を迎えます。ここまで多くの方にお力添えをいただき、心よりお礼申し上げます。おかげさまでMaRUの利用者はのべ23,000人を超え、数多くの親子の皆さまとのつながりが生まれました。今後は、これまでに培った経験と子育てコミュニティを結びつけることで、地域を活性化させていきたいと考えています。子育て世帯を単なる「支援を受ける存在」とにとどめず、地域を支え、新たな可能性をともに広げていく存在へと育てていくことが目標です。MaRUでは、保育・教育・子育て支援の専門性に加え、培った知見や子育て世代とのネットワーク、コミュニティを強みとし、企業・地域の皆さまと子育て世代とのリアルな接点を生み出すことが可能です。プロジェクトや協働企画の設計から実施まで伴走できますので、地域の皆さまが子育て世代に向けて「こんなことができる?」という段階から、お気軽にご相談いただけたら嬉しいです。

発行：一般社団法人子育てプラットフォーム MaRU 2026. 10. 1